

日本子ども家庭総合研究所 平成 18 年度 研究業績

1. 学会発表・学会シンポジウム・講演等 (29 件)
2. 研究論文 (52 件)
3. 編著書 (46 件)
4. 報告書 (52 件)
5. その他 (70 件)

1. 学会発表・学会シンポジウム・講演等

- 中村敬・高野陽・堤ちはる・齋藤幸子ほか『乳幼児健診システムに関する全国調査：第2報 地域における乳幼児期早期の子ども家庭全数把握の方策について』第53回日本小児保健学会(山梨), 2006. 10.
- 安部眞佐子・薬師寺舞・吉留厚子・堤ちはる『助産師による妊婦の体重コントロール目標値の設定について』第60回日本栄養・食糧学会大会(静岡), 2006. 5.
- 三橋扶佐子・小山秀夫・杉山みち子・堤ちはるほか『ポーションサイズの観点から見た日本の病院給食の実態』第6回日本健康・栄養システム大会(福島県裏磐梯猫魔ホテル), 2006. 6.
- 堤ちはる・三橋扶佐子・高野陽『保健センターならびに保育所の離乳指導に関する調査研究』第53回日本小児保健学会(山梨), 2006. 10.
- 三橋扶佐子・堤ちはる・瀧本秀美ほか『離乳期乳児をもつ母親の離乳に関する調査研究』第53回日本小児保健学会(山梨), 2006. 10.
- 齋藤幸子・高野陽・中村敬・堤ちはるほか『乳幼児健診システムに関する全国調査：第1報 概要について』第53回日本小児保健学会(山梨), 2006. 10.
- 齋藤幸子・宮原忍・近藤洋子『少子社会における養育力に関する研究：次世代育成に関するアンケート調査：第4報』第42回日本母性衛生学会(名古屋), 2006. 11.
- 斉藤進・小山修ほか『家庭における健康学習ニーズと生涯学習についての研究(第一報)』第15回日本健康教育学会(東京), 2006. 6.
- 山口忍・斉藤進・小山修ほか『家庭における健康学習ニーズと生涯学習についての研究(第二報)』第15回日本健康教育学会(東京), 2006. 6.
- 斉藤進・小山修・中村敬ほか『地域組織活動の評価に関する研究：活動成果指標の開発』第65回日本公衆衛生学会(富山), 2006. 10.
- 山口忍・丸井英二・斉藤進・荒賀直子『1歳児をもつ母親の育児困難感と健康関連QOL』第65回日本公衆衛生学会(富山), 2006. 10.
- 安藤朗子・川井尚ほか『極低出生体重児の発達研究－(2) 3歳時期の発達：新版K式発達検査下位項目の検討－』第53回日本小児保健学会(山梨), 2006. 10.
- 石井のぞみ・安藤朗子・佐藤紀子・加部一彦・山口規容子『極低出生体重児の6歳予後における言語性IQと動作性IQの差について』第51回日本未熟児新生児学会(埼玉), 2006. 11.
- 石井のぞみ・安藤朗子・佐藤紀子・加部一彦・山口規容子『極低出生体重児の栄養量が100ml/kg/日に到達する時期と6歳発達予後との関連性』第42回日本周産期・新生児医学会(宮崎), 2006. 7.
- 有村大士・高橋重宏・澁谷昌史ほか『テキストにおけるソーシャルワークの変遷に関する調査及び一考察：展開過程に焦点を当てて』第23回日本社会福祉実践理論学会(別府市), 2006. 6.
- 才村純『虐待防止制度の課題と方向性』日本発達心理学会第17回大会(福岡), 2006. 3.
- 才村純ほか『(国際シンポジウム)少子高齢社会における日韓の家族問題の現状と課題』第54回日本社会福祉学会(新座市), 2006. 10.
- 才村純・澁谷昌史・有村大士・庄司順一・柏女霊峰ほか『児童相談所における家族再統合援助の実態と課題－体系化への試み』第54回日本社会福祉学会(新座市), 2006. 10.
- 柏女霊峰『(記念講演)子ども家庭福祉サービス供給体制の過去、現在、未来』日本子ども家庭福祉学会第7回全国大会(東京), 2006. 6.
- 柏女霊峰『児童相談所運営指針改訂の経緯からみた児童相談所の今日的機能』日本子ども家庭福祉学会第7回全国大会(東京), 2006. 6.
- 柏女霊峰・澁谷昌史・網野武博ほか『近未来の児童福祉法改正要綱試案－その理念と具体的制度－』第54回日本社会福祉学会(新座市), 2006. 10.
- 庄司順一・澁谷昌史・有村大士ほか『子どもの心の診療に携わるコメディカル・スタッフの実態と課題』第95回日本小児精神神経学会(東京), 2006. 6.
- 伊藤嘉余子・庄司順一・尾木まり・澁谷昌史ほか『児童養護施設の小規模化の動向と課題に関する調査研究』第54回日本社会福祉学会(新座市), 2006. 10.
- 庄司順一『心理職の育成について、シンポジウム「子どものメンタルヘルスを担う人材を育成する」』第53回日本小児保健学会(山梨), 2006. 10.
- 澁谷昌史・小山修・才村純・庄司順一ほか『国際養子縁組制度に関する国際比較調査研究(中間報告)』日本子ども家庭福祉学会第7回全国大会(東京), 2006. 6.
- 小森敦・澁谷昌史・有村大士・庄司順一・高橋重宏ほか『児童養護施設における権利擁護の実態に関する研究』第54回日本社会福祉学会(新座市), 2006. 10.
- 植木信一・澁谷昌史・山本克彦『児童館における児童福祉文化財の効果的な普及に関する研究』第54回日本社会福祉学会(新座市), 2006. 10.
- 有村大士・澁谷昌史・庄司順一『子どもの心の診療に携わるコメディカル・スタッフの現状と課題』第54回日本社会福

祉学会(新座市), 2006. 10.

澁谷昌史・才村純・有村大士『小中学校における子ども虐待対応構造に関する考察ー子ども虐待に関する知識の組織内配分と意思決定手続に注目してー』第54回日本社会福祉学会(新座市), 2006. 10.

2. 研究論文

- 平山宗宏「(特集)小児疾患の早期発見とその対応:長期予後の向上をめざして I-2. 乳幼児健診」『小児科臨床』59(4), 2006, 567-571.
- 平山宗宏「(特集)予防接種:わが国の予防接種制度についての概説と最近の動向」『公衆衛生』70(4), 2006, 257-260.
- 平山宗宏「(第37回日本小児感染症学会イブニングセミナー)最近の予防接種の動向:改正点のとりまとめと麻疹風疹排除に向けて」『小児感染免疫』18(1), 2006, 47-52.
- 平山宗宏「予防接種制度と社会福祉:「保健福祉疫学」の科目設定に寄せて(1)」『高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要』3(2), 2006, 1-11.
- 平山宗宏「乳幼児集団生活施設における感染症対策」『臨床と微生物』33(6), 2006, 675-678.
- 延原弘章・渡辺由美・平山宗宏「地理情報システムによる保育所の地理的配置に関する評価の試み」『高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要』3(2), 2006, 21-29.
- 平山宗宏「新予防接種制度:その概要と経緯」『日本薬剤師会雑誌』58(9), 2006, 1151-1154.
- 上原里程・中村好一・加藤忠明・柳澤正義「小児慢性特定疾患治療研究事業へ登録された川崎病患者の疫学特性」『小児科診療』69(6), 2006, 897-900.
- 小山修「研修のすすめ方」『里親と子ども』1, 2006, 12-20.
- 大賀英史・小山修「体力・運動能力の変化と姿勢」『POSTURE しせいと生活』, 2006, 32-36.
- 中村敬「地域における子育て支援:育児ストレスとその生成要因について」『大正大学研究紀要』92, 2007, 316-336.
- 高野陽「(特集)乳幼児期の健康診査」『総合臨床』55(5), 2006, 1458-1466.
- 堤ちはる「妊娠中と出産後の栄養指導」『産婦人科の実際』55(7), 2006, 1087-1096.
- 堤ちはる「妊産婦のための食生活指針」のねらいと概要」『臨床栄養』109(2), 2006, 154-163.
- 堤ちはる「妊産婦のサプリメントの利用は? 妊産婦の食生活とサプリメントの必要性について教えてください」『肥満と糖尿病』6(1), 2007, 106-108.
- 堤ちはる「食を通じた妊産婦の健康支援」『東京母性衛生学雑誌』22(2), 2007, 12-20.
- 堤ちはる「(特集)母乳と人工乳ー正しい理解と選択ー母乳育児の現状」『産婦人科の実際』56(3), 2007, 299-304.
- 山口忍・斉藤進「地域組織活動活性化にむけての一考察:活動メンバーの調査から」『順天堂大学医療看護学部 医療看護研究』2(1), 2006, 38-44.
- 蛭田道春・斉藤進・山口忍「健康学習の系譜と展開」『大正大学研究紀要』92, 2007, 245-268.
- 石井のぞみ・佐藤紀子・安藤朗子ほか「極低出生体重児の1歳6ヶ月・3歳・6歳における発達経過とその問題点」『日本周産期・新生児医学会雑誌』42(3), 2006, 588-603.
- 安藤朗子「学童期における心の発達と健康」『母子保健情報』54, 2006, 53-58.
- 才村純「虐待予防と子育て支援ネットワーク:深刻化する子ども虐待問題と子育て不安」『「みんなで子育て」子育てネットワークによる小・中学生交流事業報告書』子どもの城(財)児童育成協会, 2006. 2, 87.
- 才村純「虐待する親、虐待される子どもへの援助のポイント」『人権のひろば』(49), (財)人権擁護協力会, 2006, 4-6.
- 才村純「調査研究から見た児童虐待問題第1回:虐待問題の深刻化の社会的背景」『保育界』11月号, 2006, 37-41.
- 才村純「深刻化する子ども虐待問題 私たちにできること…保育園の役割とポイント」『Kosodate Renaissance Booklet 「子ども虐待」について考える』6, (社)全国私立保育園連盟, 2006, 29-32.
- 才村純「調査研究から見た児童虐待問題第2回:虐待の実態」『保育界』12月号, 2006, 34-39.
- 才村純「調査研究から見た児童虐待問題第3回:虐待の発生要因」『保育界』1月号, 2007, 55-59.
- 才村純「調査研究から見た児童虐待問題第4回:虐待は子どもにどのような影響を及ぼすのか①」『保育界』2月号, 2007, 61-65.
- 才村純「調査研究から見た児童虐待問題第5回:虐待は子どもにどのような影響を及ぼすのかーDVが子どもにもたらす影響②」『保育界』3月号, 2007, 26-31.
- 才村純「疲弊する児童相談所~その現状と課題」『CAPニュース』61, 2007, 1-4.
- 柏女霊峰「社会福祉の動向と社会福祉施設長に求められるもの」『福祉施設士』(253), 2006, 3-5.
- 柏女霊峰「制度改革を促す三つの潮流と保育所制度改革の方向」全国保育協議会編『保育年報』, 2006, 16-22.
- 柏女霊峰「少子化対策を考える」『生活協同組合研究』367, 2006, 28-33.
- 柏女霊峰「児童虐待死亡事例検証結果から学ぶこと」『CAPニュース』59, 2006, 1-5.
- 柏女霊峰「障害者自立支援法と障害児童福祉・子ども家庭福祉」『そだちと臨床』1, 2006, 90-93.
- 柏女霊峰「子ども学構築のための子ども家庭福祉の課題」『チャイルド・サイエンス [子ども学]』3, 2006, 23-25.
- 柏女霊峰「子ども家庭福祉サービス供給体制の過去、現在、未来」『子ども家庭福祉学』6, 2006, 33-43.
- 柏女霊峰「子どもが抱える人間関係の課題と支援の視点」『月刊福祉』90(3), 2007, 28-31.
- 柏女霊峰「保育士資格の法定化と保育士の課題」『淑徳大学総合福祉学部研究紀要』41, 2007, 1-18.
- 庄司順一「里親研修の現状と課題」『里親と子ども』1, 2006, 6-11.
- 庄司順一「オーストラリアのある里親援助機関の初期研修プログラム:ベリーストリート・ヴィクトリアの「CARE」プログラム」『里親と子ども』1, 2006, 44-51.
- 庄司順一・小山修ほか「里親初期研修モデル案」『里親と子ども』1, 2006, 80-109.
- 庄司順一「里親とのきずな」『そだちの科学』7, 2006, 49-54.

- 庄司順一「乳児院・児童養護施設および里親における心のケアの現状と課題」『チャイルドヘルス』9(7), 2006, 27-30.
 庄司順一「被虐待児にみる親子関係」『保健の科学』48(12), 2006, 887-891.
 庄司順一「乳幼児期の食行動の問題」『日本医事新報』4322, 2007, 95-97.
 庄司順一「ライフステージと心の発達」『母子保健情報』54, 2006, 19-23.
 川井尚「日本版DENVER II による発達判定法」『小児保健研究』65(2), 2006, 219-222.
 川井尚「(教育講演)思春期の心のケアと父親の役割」『思春期学』24(1), 2006, 20-24.
 川井尚「家庭の養育力・父親の役割」『母子保健情報』54, 2006, 29-33.
 澁谷昌史・庄司順一・小山修・妹尾洋之ほか「里親への初期研修の実態(調査報告)」『里親と子ども』1, 2006, 70-79.
 澁谷昌史「大都市部における施設満床状況:川崎市「待機」要保護児童調査を参考として」『季刊児童養護』37(1), 2006, 24-26.

3. 編著書

- 柳澤正義「小児医療の課題と展望」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京:KTC中央出版, 2007, 16-24.
 加藤忠明監修・柳澤正義ほか編『新しい小児慢性特定疾患治療研究事業に基づく小児慢性疾患診療マニュアル』東京:診断と治療社, 2006.
 柳澤正義(総監修)『赤ちゃんの病気&ホームケア大百科(たまひよ大百科シリーズ)』東京:ベネッセコーポレーション, 2006.
 柳澤正義(総監修)『親子でスクラム:生活習慣病の予防は子どものときから』健康日本21推進全国協議会, 2007.
 小山修「その国に合った情報と技術の提供をしていきたい」中村修一編集・奥野真人構成『遙かなる天空の村で:ネパール歯科医療協力活動17年間の記録』東京:草風館, 2006, 273-281.
 小山修「XI. 子どもをめぐる生活環境」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京:KTC中央出版, 2007, 367.
 小山修「6章D 住民組織の活動とその支援」中村裕美子著者代表『標準保健師講座 2 地域看護技術』東京:医学書院, 2007, 164-167.
 小山修「第14章 母子保健と医療福祉」福祉臨床シリーズ編集委員会編『福祉臨床シリーズ12 臨床に必要な保健医療福祉』東京:弘文堂, 2007, 189-200.
 高野陽「11. 保育園」日本小児科連絡協議会ワーキンググループ編『心と体の健診ガイド:乳児編』第2版. 東京:日本小児医事出版社, 2006, 201-205.
 高野陽「IV. 保健・医療」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京:KTC中央出版, 2007, 103.
 堤ちはる「9. ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育(A-C)、10. 疾患・病態別マネジメント(U)」田中平三・他編『管理栄養士 全科のまとめ』改訂2版. 東京:南山堂, 2006, 218-219, 265-268.
 堤ちはる「第6章 妊娠・授乳期の治療栄養法 2. 産褥・授乳期」久保宏隆・田中照二編著『ネオ エスカ 治療栄養学』東京:同文書院, 2006, 182-194.
 堤ちはる「第5章 新生児・乳児期」『応用栄養学 新版』東京:光生館, 2006, 63-93.
 堤ちはる「第2章 栄養に関する基本的知識」『小児栄養』京都:北大路書房, 2006, 17-35.
 堤ちはるほか訳『医薬品-栄養素の相互作用 人間栄養に必要な医薬品の知識』細谷憲政・堤ちはるほか編(『Drug-Nutrient Interactions: The Manual 2004』Yvonne Coleman/2004)東京:第一出版, 2007, 239.
 堤ちはる「V. 栄養・食生活」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京:KTC中央出版, 2007, 155.
 三輪里子・堤ちはる「1編基本の料理 3部西洋料理, 3編日常食の調理 III. ヘルシー・高齢者の調理」三輪里子・吉中哲子・柏倉久代編『基礎献立と調理 新しい食事のかたち』改定増補版. 東京:アイ・ケイコーポレーション, 2007, 79-119, 158-168.
 齋藤幸子「IX. 子どもの生活・文化・意識と行動」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京:KTC中央出版, 2007, 297.
 斉藤進「I. 人口動態と子ども」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京:KTC中央出版, 2007, 25.
 安藤朗子「9. 子育てアドバイス・ヒント、2. 泣き声を不安に思う母親を安心させるには」日本小児科連絡協議会ワーキンググループ編『心と体の健診ガイド:乳児編』第2版. 東京:日本小児医事出版社, 2006, 139-140.
 安藤朗子「VII. 教育」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京:KTC中央出版, 2007, 223.
 才村純「第4章 児童福祉の近年の動向」大島侑監修・遠藤和佳子・松宮満編著『シリーズ・はじめて学ぶ社会福祉3 児童福祉論』京都:ミネルヴァ書房, 2006, 45-65.
 才村純「子ども家庭福祉とソーシャルワーク」高橋重宏・山縣文治・才村純編『社会福祉基礎シリーズ⑥』第2版. 東京:有斐閣, 2006, 95-118, 240-263, 269-275.
 才村純「子ども虐待の予防とケアのすべて(追録)」子ども虐待の予防とケア研究会編『子ども虐待の予防とケアのすべて』東京:第一法規, 2006.
 才村純「第3章第1節 児童福祉の法制度, 第2節 児童福祉の実施体制, 第4章第1節 被虐待児童のための福祉サービス, 第2節 非行児童, 情緒障害児のための福祉サービス, 第7章 少子化における施策の動向, 資料編」網野武博・朽尾勲・松原康雄・才村純編『4. 児童福祉論』改訂新版. 東京:全国社会福祉協議会, 2007, 82-122, 130-149, 258-281, 284-290.
 才村純「第3章 児童福祉の法体系と実施体制, 第4章第6節 児童虐待対策」柏女霊峰・網野武博・朽尾勲・高橋重宏編『児童福祉論』第4版. 東京:中央法規, 2007, 70-110, 184-204.
 才村純「(巻頭特集)家庭で今、何が起きているか:きびしさを増す子育て事情」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京:KTC中央出版, 2007, 16-24.

- 才村純「VI. 子どもと家族の福祉」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京：KTC中央出版，2007，183.
- 才村純「第3章 児童福祉に関する法制度と実施体制，第4章 児童福祉施策の現状と課題」改訂・保育士養成講座編纂委員会編『保育士養成講座第2 児童福祉』改訂3版．東京：全国社会福祉協議会，2007，49-170.
- 柏女霊峰・網野武博・無藤隆・増田まゆみ『これからの保育者にもとめられること』大阪：ひかりのくに社，2006，1-195.
- 柏女霊峰『子ども家庭福祉・保育のあたらしい世界』東京：生活書院，2006，1-236.
- 柏女霊峰「保育者の専門性を生かした子育て支援」蒲原・小田・神長・篠原編『幼稚園、保育所、認定こども園から広げる子育て支援ネットワーク』東京：東洋館出版社，2006，180-195.
- 柏女霊峰・網野武博・朽尾勲・高橋重宏編『児童福祉論』第4版．東京：中央法規，2007.
- 柏女霊峰「第4章第7節 保育サービス」網野武博・朽尾勲・松原康雄・才村純編『4. 児童福祉論』改訂新版．東京：全国社会福祉協議会，2007，185-195.
- 柏女霊峰・山縣文治『社会福祉用語辞典』第6版．京都：ミネルヴァ書房，2007，1-379.
- 柏女霊峰『現代児童福祉論』第8版．東京：誠信書房，2007.
- 柏女霊峰『児童福祉論』改訂3版．東京：全国社会福祉協議会，2007，1-252.
- 庄司順一「9. 子育てアドバイス・ヒント、22. 里親」日本小児科連絡協議会ワーキンググループ編『心と体の健診ガイド：乳児編』第2版．東京：日本小児医事出版社，2006，188-189.
- 庄司順一「血縁関係にない親子でつくる家庭」『子ども白書2006』東京：草土文化社，2006，114-115.
- 庄司順一『子ども虐待の理解と対応：子どもを虐待から守るために』改訂新版．東京：フレーベル館，2007，1-208.
- 庄司順一「第2章第2節 現代社会と児童の成長・発達，第4節 児童虐待」網野武博・朽尾勲・松原康雄・才村純編『4. 児童福祉論』改訂新版．東京：全国社会福祉協議会，2007，57-61，69-79.
- 川井尚「第4章 ライフステージと精神保健：「胎児期の精神保健」「新生児時期、乳児期の精神保健」「幼児期の精神保健」「児童期の精神保健」加藤雄司編『精神保健』三訂版．京都：ミネルヴァ書房，2006.
- 川井尚「Ⅲ. 発育・発達」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京：KTC中央出版，2007，83.
- 澁谷昌史「第4章第4節 ひとり親家庭のための福祉サービス，第6節 児童の健全育成サービス，第8節 子育て支援サービス」網野武博・朽尾勲・松原康雄・才村純編『4. 児童福祉論』改訂新版．東京：全国社会福祉協議会，2007，160-165，178-184，196-202.
- 澁谷昌史「Ⅷ. 保育・健全育成」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2007』東京：KTC中央出版，2007，271.

4. 報告書

- 柳澤正義ほか『子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究（主任研究者 柳澤正義）』平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）．総括・分担研究報告書．2007，1-247.
- 柳澤正義「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）『子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究（主任研究者 柳澤正義）』総括研究報告書．2007，1-11.
- 柳澤正義・保科清・宮本信也・別所文雄「子どもの心の診療医養成のための研修テキスト作成に関する研究：一般小児科医向けテキストの作成について」．平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）『子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究（主任研究者 柳澤正義）』総括・分担研究報告書．2007，218-228.
- 柳澤正義「3. 小児慢性特定疾患の登録・評価・情報提供に関する研究」平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究（主任研究者 加藤忠明）』平成16-平成18年度総合研究報告書．2007，8.
- 加藤忠明・柳澤正義・斉藤進ほか「1-1. 平成16、17年度小児慢性特定疾患治療研究事業の全国登録状況」平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究（主任研究者 加藤忠明）』分担報告書．2007，11-46.
- 加藤忠明・柳澤正義ほか「3. 小児慢性特定疾患治療研究事業での非継続症例の経過に関するパイロット研究」平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究（主任研究者 加藤忠明）』分担研究報告書．2007，79-84.
- 小山修ほか『白井市総合計画 基本構想／基本計画：しろい』白井市，2006.5，1-138.
- 小山修「1.6 地域ネットワークと情報」『平成18年度「親と子の生活行動と健康に関する調査事業」報告書』，2007，37-43.
- 中村敬・高野陽・堤ちはる・齋藤幸子「乳幼児健診システムに関する全国実態調査：2005年および2006年度2年間における悉皆調査の分析結果について」平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究（主任研究者 高野陽）』分担報告書．2007，10-114.
- 中村敬・高野陽・齋藤幸子「市町村合併による乳幼児健診の変化に関する調査報告書：自由記述欄の分析を通して」平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究（主任研究者 高野陽）』分担報告書．2007，142-157.
- 中村敬「乳幼児期の健康診査に関する現地調査（東京都東大和市）」平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究（主任研究者 高野陽）』分担報告書．2007，163-165.
- 高野陽「第7章第2節 保育保健に関する職場内研修」平成18年度児童関連サービス調査研究等事業報告書『効果的な研修システムの開発を目的とした保育所における職場内研修に関する調査研究（主任研究者 民秋言）』，2007，106-108.
- 高野陽ほか『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究（主任研究者 高野陽）』平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業），2007，1-259.

- 高野陽・中村敬・齋藤幸子「乳幼児健診システムに関する全国実態調査：2005年度合併市町村の追加調査結果」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』分担報告書. 2007, 7-9.
- 福本恵・高野陽・三橋美和・榎本妙子「市町村合併による乳幼児健診の変化に関する調査報告」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』分担報告書. 2007, 115-141.
- 高野陽「乳幼児期の健康診査に関する現地調査(N県U市)」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』分担報告書. 2007, 158-162.
- 堤ちはる「食事が子どもを変える」食育支援ネットワーク会議『平成17年度幼児期からの健康食習慣づくり事業報告集』尼崎保健所, 2006, 1-9.
- 堤ちはる「第3章 4. 保育所における食育の計画づくりをめぐるQ&A」平成18年度児童関連サービス調査研究等事業報告書『食育政策の推進を目的とした保育所における食育計画に関する研究(主任研究者 酒井治子)』分担研究報告書. 2007, 154-158.
- 堤ちはる「妊産婦の栄養について、(東京シンポジウム)総合討論及び質疑応答、「妊産婦のための食生活指針」活用の手引き、「Let's try!いのちを育むバランス食生活」：支援者用」平成18年度(独法)福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業『食を通じた妊産婦の健康普及啓発事業報告書』. 2007, 8-9, 18-21, 27-63.
- 堤ちはる・庄司順一・有村大士ほか「児童養護施設の食事環境に関する調査研究(Ⅱ)：施設の立地条件の食事環境に及ぼす影響、及び自由記述の分析」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』分担報告書. 2007, 41-61.
- 堤ちはる「乳幼児健康診査における食育、栄養教育のあり方に関する研究(2)市町村合併による乳幼児健康診査の変化」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』分担報告書. 2007, 211-223.
- 齊藤進・坂本純子『企業における父親の子育て支援に関する調査研究とプログラム開発：カナダの事例と国内の父親支援と研究の現状(主任研究者 齊藤進)』平成18年度調査研究事業報告書。(財)こども未来財団, 2007, 1-119.
- 齊藤進「22. 小児慢性特定疾患治療研究事業システムに関する研究」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』平成16-平成18年度総合研究報告書. 2007, 21-22.
- 加藤忠明・齊藤進「Ⅲ-A. 小児慢性特定疾患の登録・管理システムVer4.0操作説明書(エヌ・アイ・デイ)」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』平成16-平成18年度総合研究報告書. 2007, 135-198.
- 加藤忠明・掛江直子・齊藤進ほか「1-2. 小児慢性特定疾患治療研究事業の講習のあり方(2)」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』分担研究報告書. 2007, 47-48.
- 齊藤進・加藤忠明・小山修ほか「21. 小児慢性特定疾患登録管理システムの課題」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』分担研究報告書. 2007, 215-219.
- 加藤忠明・齊藤進・藤田正則「平成16年度小児慢性特定疾患治療研究事業の疾患群別、男女別、都道府県・指定都市・中核市別、診断時・発病時年齢階級別、登録者数」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』分担研究報告書. 2007, 220-286.
- 齊藤進・小山修・柳澤正義ほか『平成18年度「親と子の生活行動と健康に関する調査事業」報告書』(独法)福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業。(財)健康・体力づくり事業財団, 2007, 1-234.
- 齊藤進ほか「第1部 調査事業の概要, 1.8 自由回答質問にみられる特徴：主な特徴の初動探査, 2. まとめ, 第4部 調査事業のまとめ」『平成18年度「親と子の生活行動と健康に関する調査事業」報告書』, 2007, 3-7, 45-48, 49-50, 95.
- 安藤朗子(分担執筆)『在宅訪問保育における保育効果及び子育て支援効果に関する実証的事例研究(主任研究者 尾木まり)』平成18年度児童関連サービス調査研究等事業報告書。(財)こども未来財団, 2007, 2.
- 高橋重宏・澁谷昌史ほか『地域における児童虐待の早期発見及び解決に向けた被虐待児・親を支援する人材養成事業(最終報告)』(社)日本社会福祉士会(児童問題委員会)・(独法)福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業, 2006, 3.
- 前橋信和・才村純ほか「児童相談所を中心とした在宅支援に関する研究」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『児童虐待等の子どもの被害、及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究(主任研究者 奥山真紀子)』平成17年度、18年度分担研究報告書. 2007, 1-114.
- 才村純『「千葉県子育て支援・児童虐待防止に関する意識調査」結果報告書』千葉県社会福祉審議会児童福祉専門分科会社会的養護検討部会児童虐待防止調査研究委員会, 2006, 3.
- 才村純・澁谷昌史・有村大士『平成18年度全国児童相談所専門職配置調査(主任研究者 才村純)』全国児童相談所長会委託調査. 2006.
- 才村純・柏女霊峰・澁谷昌史・庄司順一・有村大士・妹尾洋之ほか『児童虐待防止制度改正後の運用実態の把握・課題整理及び制度のあり方に関する調査研究(主任研究者 才村純)』平成18年度児童関連サービス調査研究等事業報告書. 2007, 1-97.
- 有村大士・才村純「子どもの受けるサービスと職員の業務、および負担に関しての研究：タイムスタディの二次分析から」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』分担報告書. 2007, 85-95.
- 才村純・澁谷昌史・有村大士・妹尾洋之ほか『保育所、学校等関係機関における虐待対応のあり方に関する調査研究(主

- 任研究者 才村純』平成18年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)総括研究報告書. 2007, 1-492.
- 柏女霊峰・庄司順一ほか『社会的養護を必要とする子どもたちのために：千葉県における社会的資源のあり方に関する基本方向』千葉県社会福祉審議会社会的資源あり方検討委員会, 2006. 6.
- 柏女霊峰ほか『少子化社会に関する国際意識調査報告書』内閣府, 2006. 3.
- 柏女霊峰ほか『放課後児童クラブにおけるガイドラインに関する調査研究報告書』平成18年度児童関連サービス調査研究等事業報告書. みずほ情報総研(株), 2007, 1-132.
- 柏女霊峰ほか『千葉県児童相談所子ども虐待対応マニュアル』千葉県, 2007, 1-96.
- 柏女霊峰ほか『里親ファミリーホーム運営・生活マニュアル』第1回里親ファミリーホーム全国研究協議会報告書. 「里親ファミリーホーム運営・生活マニュアル」編集委員会編, 2007, 1-84.
- 柏女霊峰ほか『「生協の子育て支援研究会」報告書を受けて』日本生活共同組合, 2007, 1-30.
- 庄司順一・松寄くみ子・澁谷昌史・有村大士ほか「子どもの心の診療に携わるコメディカル・スタッフの育成に関する研究」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究(主任研究者 柳澤正義)』総括・分担研究報告. 2007, 179-194.
- 庄司順一・柏女霊峰ほか『少子化の進展と子どもたちの自立支援:世代を超えて共に育ち合う都市をめざして(最終提言)』東京都児童福祉審議会, 2006. 6, 1-58.
- 庄司順一ほか『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)総括・分担研究報告書. 2007, 1-169.
- 尾木まり・庄司順一・澁谷昌史・有村大士ほか「児童養護施設の小規模化に関する調査研究:クロス分析及び自由記述の分析結果から」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』分担報告書. 2007, 15-40.
- 谷口純世・庄司順一・澁谷昌史・堤ちはるほか「ヒアリング調査から見た小規模ケアの実態」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』分担報告書. 2007, 62-71.
- 中山豊・井上寿・下泉秀夫・庄司順一「児童養護施設の建築学的評価に関する研究」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』分担報告書. 2007, 72-84.
- 伊藤嘉余子・平田ルリ子・庄司順一ほか「乳児院・児童養護施設の小規模化を推進するにあたっての課題」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』分担報告書. 2007, 96-106.
- 庄司順一『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』平成17年度～18年度総合研究報告書. 平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業), 2007, 1-8.
- 澁谷昌史・小山修・庄司順一ほか「専門里親に関する調査」平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』分担報告書. 2007, 107-118.

5. その他

- 柳澤正義「(書評)市川光太郎著:児童虐待イニシャルマネジメント:われわれはいかに関わるべきか」『内科』97(5), 2006, 878.
- 柳澤正義「(巻頭言)子どもの心の健康支援における保育と医療の連携」『保育と保健ニュース』35, 2006, 1.
- 柳澤正義「(論説)すべての小児科医は子どもの心の診療医」『小児科診療』69(7), 2006.
- 柳澤正義「(巻頭言)特集:「子どもの心」について」『母子保健情報』54, 2006.
- 小山修「(巻頭言)学会誌への期待」『日本健康教育学会誌』14(1), 2006, 1.
- 中村敬「(インタビュー)新しい時代に乳幼児健診の果たす役割とは」『母子保健』3月号, 2007, 2-4.
- 高野陽「(特集)Ⅱ. 小児医学・小児保健学の立場から」『日本学校歯科医会誌』96, 2006, 22-27.
- 高野陽「(総論)乳幼児健診の今後」『母子保健』3月号, 2007, 1.
- 堤ちはる『はつらつ妊婦さんの食生活ガイドブック』東京:東京法規, 2006, 1-3.
- 堤ちはる「シンポジウムⅠ:母乳育児と栄養 栄養士の立場から」『第13回母乳育児シンポジウム記録集13』日本母乳の会, 2006, 73-79.
- 堤ちはる「今、育児に求められる栄養士の力、提言2 研究者の立場から 専門的な栄養の話を噛み砕き、わかりやすい形で発信してほしい」『ヘルスケア・レストラン』9月号, 2006, 55.
- 堤ちはる「季節のおやつ とっても簡単!手づくりヘルシーおやつ」『月刊赤ちゃんとママ』107(増刊号), 2006, 17.
- 堤ちはる「(特集)食事の魅力と大切さ:インタビュー どうする?乳幼児期からの食事」『月刊母子保健』571, 2006, 2-4.
- 堤ちはる「(特集)妊娠・授乳期の食事と離乳食:妊産婦のための新しい食生活指針」家庭栄養研究会編『食べもの通信』429, 東京:食べもの通信社, 2006, 12-13.
- 堤ちはる「(提言)乳幼児への食育 豊かな食体験が財産に」『産経新聞』2006.11.22, 25面.
- 堤ちはる「(シンポジウム)「妊産婦の栄養について」:「食を通じた妊産婦の健康支援シンポジウム」(独)福祉医療機構(子育て支援基金), 2007.1.18(神戸会場), 2007.1.22(東京会場).
- 福岡秀興・堤ちはる・福井トシ子・森ひろ子『妊産婦のための食生活指針 Let's try! いのちを育むバランス食生活』東京:(財)母子衛生研究会, 2007, 33.
- 小林正雄(指導)・堤ちはる(指導)『妊婦のためのワンポイント栄養学』東京:(財)母子衛生研究会, 2007.

- 中林正雄(指導)・堤ちはる(指導)『妊娠期・授乳期ママの栄養miniガイド あなたの食事はだいじょうぶ?』第2版. 東京:(財)母子衛生研究会, 2007, 1-16.
- 中林正雄(指導)・堤ちはる(指導)『ママと赤ちゃんの栄養ガイド』第3版. 東京:(財)母子衛生研究会, 2007.
- 斉藤進「(新春特集、対談)子育て・子育ての展望」『こども未来』424, 2007, 7-11.
- 斉藤進「(提言)ITを活用し、顔の見える関係づくりへ、児童館を拠点とした子育てネットワーク事業 みんなで子育て」こどもの城, 2007, 47.
- 才村純「(特集)いま母子保健関係者に求められるもの」『月刊母子保健』565, 2006, 1.
- 才村純「乳幼児保育者のための子ども虐待防止シンポジウムの報告」『月刊母子保健』565, 2006.
- 才村純(監修)「心の声に出会うとき・・・ココがはじまり」平成17年度(独法)福祉医療機構助成事業『母親発一私たちの虐待予防マニュアル』埼玉:NPO法人彩の子ネットワーク, 2006.
- 才村純「(講演録)深刻化する児童虐待～私たちにできること」『社会教育における人権教育推進のための資料』奈良県教育委員会事務局生涯学習課, 2006.3.
- 才村純「(基調講演、シンポジウム録)法改正後の児童相談所のあり方」全国児童相談所長会『全児相』第82号, 2006.
- 才村純「解説」栗津美穂著『ディープ・ブルー』東京:太郎次郎社エディタス, 2006, 301-307.
- 才村純「私の考える府福祉専門職の役割」『福祉の知:平成18年度大阪府福祉専門職員論文集』10, 2007, 57-76.
- 柏女霊峰・才村純(アドバイザー)ほか『子ども虐待対応実践マニュアルVer.1』千葉県健康福祉部児童家庭課虐待防止対策室, 2006.3, 1-92.
- 柏女霊峰「(講演録)これからの里親制度の展開について、(シンポジウム)子どもを健やかに育むために:里親・施設・児童相談所の連携」第51回全国里親大会報告書. 第51回全国里親大会沖縄県実行委員会, 2006.10, 14-29, 30-55.
- 柏女霊峰「認定こども園の制度化がもたらすもの」『日本保育学会会報』135, 2006, 1-2.
- 柏女霊峰「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について」『愛育ねっと』トピックス, 2006.5.
- 柏女霊峰「地域わくわく子育てフォーラムの概要」『愛育ねっと』トピックス, 2006.5.
- 柏女霊峰「(講演録)地域における子育て・子育て支援」墨田区, 2006.5, 1月9日.
- 柏女霊峰「(講演録)子育て・子育ての現状とこれから」『ひろしまこども夢財団ホームページ』2006, 1-13.
- 柏女霊峰「広げよう 里親ファミリーホーム」『公明新聞』2006.9(5), 2006.9.4.
- 柏女霊峰「保育所、保育士の願い」『そだち』5, 石川県社会福祉協議会, 2006, 1.
- 柏女霊峰「書評・日本の児童養護」『里親と子ども』1, 2006, 118-119.
- 柏女霊峰ほか「(座談会)新しい時代の保育につなぐ」『保育の友』54(13), 2006, 10-25.
- 柏女霊峰「保育士資格の今までとこれから」『未来へのとびらー全国保育士会50周年を迎えてー』全国保育士会, 2006, 26-36.
- 柏女霊峰「社会保障における次世代育成」『こども未来』423, 2006, 7-9.
- 柏女霊峰「(テーマトーク記録)新しい保育・新しい保育士・新しい保育士会」『保育士会だより』214, 2006, 10-11.
- 柏女霊峰「保育所保育指針の改定に思う」『保育界』3月号, 2007, 8-9.
- 柏女霊峰ほか「(パネルディスカッション)配偶者からの暴力の被害者とその子どもへの支援について」『女性に対する暴力に関するシンポジウム報告書』内閣府男女共同参画局, 2007, 28-59.
- 柏女霊峰「(書評)児童虐待:現場からの提言」『高齢者虐待防止研究』3(1), 2007, 128.
- 柏女霊峰「現代と子ども家庭福祉」『NHK社会福祉セミナー』19(62), 2006, 59-62.
- 柏女霊峰「子ども家庭福祉の制度」『NHK社会福祉セミナー』19(62), 2006, 63-67.
- 柏女霊峰「保育サービスの現状と課題」『NHK社会福祉セミナー』19(62), 2006, 68-71.
- 柏女霊峰「子どもの虐待防止と安全確保」『NHK社会福祉セミナー』19(62), 2006, 72-75.
- 柏女霊峰「協議会型支援を目指して」『こども未来』415, 2006, 20-21.
- 柏女霊峰ほか「よくわかる認定こども園Q&A」『保育の友』54(14), 2006, 10-24.
- 柏女霊峰「児童虐待防止対策の強化について」『愛育ねっと』トピックス, 2007, 3.
- 庄司順一「子どもの自立への支援」『保育界』4月号, 2006, 32-33.
- 庄司順一「仙台キリスト教育院、石井十次、青山学院」『保育界』5月号, 2006, 48-49.
- 庄司順一「心理学への不満」『保育界』6月号, 2006, 58-59.
- 庄司順一「研修について」『保育界』7月号, 2006, 32-33.
- 庄司順一「研究レポートの書き方(1)」『保育界』7月号, 2006, 42-45.
- 庄司順一「(特集コラム)「父親の子育て参加」調布市.
- 庄司順一「親子関係について」『保育界』8月号, 2006, 16-17.
- 庄司順一「『里親と子ども』創刊にあたって」『里親と子ども』1, 2006, 1.
- 庄司順一「特集「里親への初期研修」の企画について」『里親と子ども』1, 2006, 5.
- 庄司順一「若者の振る舞い」『保育界』9月号, 2006, 44-45.
- 庄司順一「病児保育と医療保育」『保育界』10月号, 2006, 26-27.
- 庄司順一「新生児の有能さ」『保育界』11月号, 2006, 14-15.
- 庄司順一「子ども虐待(コラム2)里親制度を発展させるために」『保健の科学』48(11), 2006, 852.
- 庄司順一「生涯発達心理学」『保育界』12月号, 2006, 18-19.
- 庄司順一「メアリー・エレンの人生」『保育界』1月号, 2007, 50-51.
- 庄司順一「社会的養護の動向」『保育界』2月号, 2007, 48-49.
- 澁谷昌史「(講義)家庭相談員は地域の児童虐待にどうかかわるべきか:「聴くこと」「つなぐこと」「支えあうこと」」『全国家庭相談員連絡協議会会報』11, 2007, 4.